

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 7月12日更新

事務事業名		社会資本整備総合交付金事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	24	計画的な道路の整備			所属課	建設課	担当者名	田中 良知
	施策の柱	67	道路環境の整備			所属班	工務班	(内線)	5258
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11507	根拠法令 道路法		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 ~ 9 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本事業は、国の社会資本整備総合交付金等を活用し、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることを目的とした道路整備事業である。本市では、人口増加や企業の増設・進出等により交通需要が増加していることから、市内幹線道路ネットワークの機能強化を図るため、市道の拡幅やバイパス整備を計画的に実施し、また、児童・生徒の安心・安全な通行を確保するため、歩道新設等の通学路整備を行っている。 現在計画施工中の路線については、次のとおり。 上群中林線(栄・上庄工区)、御代志木原野線、建山黒石原線、上群中林線(豊岡工区)、竹迫第二テクノ線
【業務の流れ】	計画立案、関係機関協議、測量設計、不動産鑑定、建物等調査、用地交渉、土地売買契約、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	委託料、公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事請負費
【意見や要望】	地域住民や道路利用者から交通渋滞の解消や通学路整備の要望が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	市道のうち、幹線道路の整備を行った。 ●委託料:(道路)4路線・4件、(橋梁)2件 ●工事費:(道路)施工延長L=230m、2路線・2件 ●用地補償費:1路線・4件	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 施工延長 → イ: m	計画立案、関係機関協議、不動産鑑定、建物等調査、用地交渉、土地売買契約、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払 予算の主な増減の理由 社会資本整備総合交付金事業の年次計画に基づく工事請負費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市道(幹線道路)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市内の道路を安全かつ円滑に通行できるようにする	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
成果指標は工事実施延長による整備率とし、目標値は年次計画に基づく計画延長とした		全体計画 ~ 9年度 1,732,900

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込		
① 活動指標	ア	m	2,484	961	230	230	1,200	1,200	1,200	1,200		
	イ											
	ア	m	4,370	3,460	5,960	5,960	5,960	5,960	5,960	5,960		
② 対象指標	ア											
	イ											
	ア	%	57	61	40	40	60	80	100	100		
③ 成果指標	ア											
	イ											
	イ											
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	358,756	196,914	231,346	109,582	234,615	166,000	282,500	359,000	
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円	276,900	158,400	177,600	83,100	178,600	149,400	254,200	323,100	
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	(A) 事業費計	一般財源	千円	33,812	19,236	35,895	21,454	45,752	16,600	28,300	35,900	
		(A) 事業費計	千円	669,468	374,550	444,841	214,136	458,967	332,000	565,000	718,000	
		(A)のうち指定経費	千円	237	223	248	202	324	0	0	0	
		(A)のうち時間外・特勤	千円	237	223	248	202	324	0	0	0	
		(B) 人件費計	千円	22,873	23,787	23,306	18,428	23,306	23,306	23,306	23,306	
トータルコスト(A)+(B)	千円	692,341	398,337	468,147	232,564	482,273	355,306	588,306	741,306			
人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	7	8	8	8	8		
	延べ業務時間	時間	5,850	6,250	5,850	5,060	5,850	5,850	5,850	5,850		

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業実施に係る年次計画を策定し、市の財源と調整を行いながら事業を進めていく。用地買収が難航している地権者においては、ご理解・ご協力を得られるよう継続して交渉を行っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完了しないと発揮できないが、事業完了を目標に道路整備を進めていく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ実施しており類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 土木工事標準積算基準書等に基づき設計価格を算定しているため、これ以上のコスト削減は見込めない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業の事務は、工事等の設計積算や工事現場の監督・指導など専門的な知識が必要であるため、正職員以外の職員は担当することができない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域住民のほか、一般の方も利用する公共土木施設 (市道) であるため妥当である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市道は道路管理者である合志市が管理することとなっており、民間委託等はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

全ての要望に応えることは困難であるが、地域からの要望を抑えることはできないため、必要性や地域バランスをより一層考慮したうえで事業を進めていかなくてはならない。
地域住民をはじめとして、一般通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから必要な事業であり、継続は妥当である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						